

評価の基準 A・・・よく達成できている B・・・達成できているが課題もある C・・・改善が必要

◎ 教育・保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価	改善を要する意見及び改善策
教育・保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	A	幼保連携型認定こども園 教育・保育要領をもとに本園の保育理念に照らし教育・保育課程の編成にあたっている。 子どもの実態に即した指導計画を作成し、保育教育を行えるよう、職員間で目標を明確に理解する為、ミーティングや事例検討を行っている。より質の向上に努めていく。
	(2) 目標は、施設や地域の特色を生かしているか。	A	
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	B	
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。	A	
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	A	
教育・保育内容について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	A	指導計画の作成に当たっては、子どもたちの活動が選択、展開されるよう、具体的なねらいや内容を明確に設定し、適切な環境を構成していくよう心掛けている。 家庭との連携を十分に図れるよう連絡帳や年2回、個人懇談を行い園児一人一人の生活についての理解を深め、こども園と家庭が互いに園児の望ましい発達を促すことができるように努めている。 毎月、栄養調理担当者・食育担当職員で4園との給食検討会を行い、意見交換をしている。また、アレルギー児など必要に応じて都度相談しながら連携を図っている。
	(2) 認定こども園教育・保育要領に基づく指導援助を適切に行っているか。	A	
	(3) 環境構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	B	
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	A	
	(5) 登園・降園時にこやかに対応しているか。	B	
	(6) 連絡帳・連絡ノート、個人懇談の活用が十分できているか。	A	
	(7) 給食、おやつなどのメニューに偏りはないか。	A	
	(8) 食育計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	A	
	(9) 乳幼児の健康管理を適切に行っているか。	A	
	(10) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	A	
保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	A	園児が健康に過ごせるよう保健指導計画を作成し、看護師が主となり、日々の園児の健康状態の観察や病児対応などをおこなっている。また、感染症に対しても早期対応を行い感染拡大防止に努めている。
	(2) 避難訓練・安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	A	
	(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	A	
	(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	B	
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか	A	園児一人一人の園生活を見通した上で園児の活動や休息、緊張感や解放感等の調和を図っていけるように努めていく。
	(2) 教育保育週数を確保しているか。	A	
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	B	今年度は、新型コロナウイルス感染症の関係もあり行事開催にあたり、人数制限や時間配分にも配慮し保護者への理解や協力を得て行事開催となった。しかし、例年とは違った新たな視点で行事を行うことで良い点にも気付かされ、今後に生かすよう努める。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	A	
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	A	
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	B	
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	A	

◎教育・保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価	改善を要する意見及び改善策		
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	A	シフト勤務(時差出勤)制とし、安全を考慮し定められた基準を満たした職員配置を行っている。 シフト勤務の為、出勤時間や退勤時間が異なるので、報告、連絡、相談が怠らないように職員間で情報の共有を密に図れるよう心掛けている。	
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	A		
		(3) 職員の配置は適材・適所か。	A		
		(4) 係りや仕事の分担・割り当ては適切か。	B		
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	A		
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	B		
		(3) 打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。	B		
	年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は、教育・保育目標や重点目標に基づいて設定しているか	A		短期・長期の指導計画では、園生活の全体を視野に入れ、学年や学級間の連携を十分に図ることが大切になってくる。園児の生活する姿を的確に捉えるためには、保育教諭等が互いに情報や意見を交換するなど職員の協力体制をつくることにつながる。日頃よりミーティングやケース会議を行い記録し、振り返りの場を持つように努める。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	A		
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	B		
(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		B			
(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		A			
(6) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。		A			
研究・研修	園内研修・研究	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。	B	自己評価の中で職員一人一人の反省や資質向上への意欲が感じられた。園内研修を工夫したり、保育を見合うことで研鑽を深めていく。	
		(2) 園内研修の計画・運営は適切か。	A		
		(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	B		
		(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。	A		
	園外研修	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	A		園外研修で得た内容を報告する機会を設け、全職員が研修内容を生かせるように努める。
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	A		
情報について	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報 を適正に取り扱っているか。	A	個人情報保護情報規約に則り、いかなる事情があろうと施設内で得た情報を他に漏らさないことを職員一同周知徹底をしている。 また、新人職員に対しての研修を行い個人情報保護に努めている。		
	(2) 公文書收受、発送、処理を適正に行っているか。	A			
	(3) 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	A			
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	A	安全点検表を作成し、施設、設備、遊具、玩具、用具、園庭等を定期的に点検し、安全性の確保や機能の保持など具体的な点検項目や点検者を定めている。		
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	A			
	(3) 不審者等に対応する周知な配慮を行っているか。	A			
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切、且つ、効果的に活用しているか。	A			
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	A	税理士事務所による検査を毎月、実施している。		

◎地域の中の就学前教育施設に関する評価

項目	内容	評価	改善を要する意見及び改善策	
開かれた認定こども園づくり	施設間交流・連携	(1)小学校等との年間交流計画は、教育・保育目標や課題に添ったものになっているか。	B	例年実施している小学校、中学校との交流では、新型コロナウイルス感染予防の為、交流実施することができなかった。今後の目標として、公開保育という形で小学校、中学校、地域の方にも園内を開放して、より知っていただけるよう園内計画に組み込んでいきたい。
		(2)小学校等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	B	
		(3)保育教諭同士が、打ち合わせや事前研修・合同研修を行い互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	A	
		(4)参観や保育・授業等に参加するなどして、小学校等の教育を理解しているか。	C	
		(5)日常的に情報を交換し、それを交流活動にいかしているか。	B	
	家庭・地域との連携	(1)参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。	B	情報社会の中で多くの間接情報に囲まれて生活をしているが、自然とのふれ合い、地域で異年齢児との関わり、働く人と触れ合ったり高齢者を始め幅広い世代と交流したりするなどの直接的、具体的な体験が得られる機会を設けていくよう務める。
		(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。	B	
		(3)乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	B	
		(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	B	
	子育て支援の推進	(1)地域の子育てセンターとして、園庭やリズム室、子育て支援室等を開放しているか。	A	地域子育て支援では、月1回のベビーマッサージ、親子ふれ合い遊び、園開放、子育て相談を取り入れている。子育てに不安を感じている保護者が子育てに自信を持ち、子育てを楽しんでいることができるような働き掛け、環境づくりに努めていきたい。また、専門性を有する特性を生かし、保育教諭、看護師、栄養士等が一体となり支援していくよう努める。
		(2)地域に住む子ども同士、あるいは親子と一緒に遊ぶことのできるような場の設定を行っているか。	A	
		(3)地域の実態を捉え、計画的な預かり保育を行っているか。	A	
		(3)「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	B	
		(4)職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	B	
	(5)医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	B		
	情報の発信	(1)園だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	B	地域に向けての情報発信について、もう少し工夫をし、より情報の発信が行えるように努めたい。
		(2)行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。	B	
	外部評価	(1)第三者評価や学校評議員会等を導入し、園運営に反映しているか。	B	アンケートを実施し、保護者の意見を職員間で話し合いを行った。より保護者との相互理解を図れるように努める。
		(2)地域や保護者の意見を園運営に反映しているか。	A	